



上士幌町は、2020年10月に
「第8回プラチナ大賞優秀賞(統合的地域づくり賞)」
(プラチナ構想ネットワーク主催)

2020年12月に
「第4回ジャパンSDGsアワード SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞」
(政府SDGs推進本部主催)
を受賞しました



上士幌町は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

かみしほろの未来を創る

SDGs
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOAL



かみしほろの未来を

ESDGSで創る



SDGs=Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)は、2015年の国連サミットで採択された、世界のみんなが共有する行動目標です。地球上の私たちみんなが、ずっと豊かで幸せな暮らしを続けていくための17個の目標です。SDGs目標に向かってみんなで取り組んでいくことが、上士幌町の豊かな未来を創ることにつながります。

SDGsで描く未来のかみしほろの姿

経済

仕事のあるまち



環境

豊かな自然があるまち



社会

住みやすいまち



かみしほろの第1期地方創生とSDGs

2015年からの第1期地方創生では以下の3点に注力し、人口のV字回復を実現しています。

1 子育て・教育・文化

安心して子どもを産んで、育てることができるまち

認定子ども園の設置、子育て支援カード、子どもの医療費無料化...
キャリア教育、コミュニティスクール...

SDGs...



2 移住・定住・交流

新たな暮らしを、安心して始められるまち

生活体験の受け入れ、NPOと連携した移住総合案内...
賃貸住宅建設助成、新築・リフォーム助成...

SDGs...



3 医療・福祉・安心

誰もが健康で安心して暮らせるまち

健康ポイント事業、コミュニティで支える地域包括ケア...
町内無料循環バス、もしもの時の緊急通報サービス、除雪費助成...

SDGs...



MESSAGE

これまで、そしてこれからも「持続可能なまちづくり」を目指して

たけなか みつぎ

竹中 貢 町長



上士幌町では、地方の人口減少及びそれに伴う課題に対し、これまで第1期地方創生として施策を講じて参りました。町民が健康で安心して暮らし、充実した子育てができるまちづくりを目指し取り組んできた結果として、2018年には人口のV字回復の実現に至りました。こうしたまちづくりは、将来にわたり次の世代に繋げていくこと、即ち「持続可能なまちづくり」であったと言えます。

そして今現在、未来に向けて取り組んでいる第II期地方創生では大きく5つの柱を掲げました。中でも「(株)生涯活躍のまちかみしほろ」による、人とまちが生きる仕組みづくり、「(株)karch(カーチ)」による地方の稼ぐ力の創出、これらの官民共働によるまちづくりは、これまで行政だけでは解決できなかった新しいまちづくりの基盤を担っています。

さらには、光ファイバーの全世帯敷設、スマート農業、MaaS・自動運転バスをはじめとした、次世代高度技術の実装によるスマートタウン構想は、これからも未来に向けて地方が息づいていくための重要な仕組みです。

本冊子では、こうした上士幌町が取り組んでいる第II期地方創生の5つの柱を、近年注目が集まるSDGs(持続可能な開発目標)で掲げられる17の目標に関連づけてご紹介しています。それはこれまで、そしてこれからのまちづくりを整理してみるとSDGsと重なったものであり、「持続可能なまちづくり」そのものが上士幌町のSDGsであったのです。

こちらでご紹介いたします上士幌町ならではのSDGsをご覧いただき、本町のことを知っていただくきっかけになればと心より願っております。

かみしほろ 第II期 地方創生 全体マップ

上士幌町は、5つの柱を中心に、社会・経済・環境が統合的に向上する持続可能なまちづくりを行っています。生きがいやコミュニティづくりを「株生涯活躍のまちかみしほろ」が社会を促進させ、「株karch」が電気小売販売による再生可能エネルギーの地産地消などで地域経済を活性化させています。また、家畜ふん尿バイオガスプラントを核とした資源循環型農業、クリーンエネルギーを供給し環境に配慮したまちづくりを行っています。それぞれが有機的に結びつきスマートタウンの実現を目指します。

誰もがいきいきとした
住みよい上士幌町



上士幌町の基本情報

- 人口** 4,964人 (令和2年12月)
- 世帯数** 2,597世帯 (令和2年12月)
- 面積** 696km² (東京23区よりやや広い)
- 人口密度** 約7人/km²
- 社会増減率** -0.06% (平成31年～令和元年)
- 高齢化率** 34.29% (令和2年1月)



01

第1の柱

だれもが生涯活躍できる
まちづくり



人とまちが活きる仕組みづくり

地域包括ケアの充実

だれもが行き着け、参加できるまち

Page 05～06

02

第2の柱

環境と調和した
持続可能な農業と
エネルギーの地産地消



バイオガスプラントを
核とした資源循環型農業

バイオガス発電による
エネルギーの地産地消

Page 07～08

03

第3の柱

地域が稼ぐ力の
発揮・地域経営



観光地域商社(株)karch

道の駅・ナイトテラスの運営

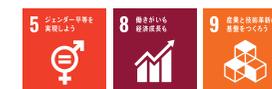
新しいビジネス・事業の創出

Page 09～10

04

第4の柱

人の都市・地方循環による
地域活性



シェアオフィスの活用

移住・定住・交流の推進

滞在型体験プログラム
「MY MICH Kamishihoro」

Page 11～12

05

第5の柱

次世代高度技術の実装による
スマートタウンの実現



光ファイバー全世帯敷設

スマート農業

MaaS・ドローン

Page 13～14

01

第1の柱



だれもが生涯活躍できるまちづくり

「ハレタかみしほろ(起業家支援センター)」を拠点に、老若男女だれもが生涯活躍できる機会創出や体制充実への取り組み

1 仕事や困りごとのマッチング

人材センターや無料職業紹介により、生涯働ける環境づくりや一人ひとりの人生のスキルを活かした生業開発、専門講座にも力をいれています。

かみしほろ人材センター

高齢者、子育て中の主婦(夫)等が知識と経験を活かして働ける場を紹介しています。

起業塾

上士幌町だからこそできる価値を創造し、起業へのチャレンジを支援する講座を行っています。

ハレタかみしほろ



起業にチャレンジする人への応援や町内外問わず住民が交流するコミュニティの拠点です。無料職業紹介も行っており、就業から起業までトータルでサポートします。



～ JOB ～
仕事

2 子育て支援・支え合いの充実

上士幌町では、子育て世代への支援を手厚く、経済面・環境面からさまざまなサポートを行い、安心して子どもを産み、育てることの出来るまちづくりをしています。

ママのHOTステーション

毎週金曜日に開催されるママや妊婦さんのためのサポート制度がスタートしています。助産師や保育士が常駐し、育児の悩み相談や交流できる機会を創出しています。



支え合いの充実

子育て世代に限らず、介護人材の担い手育成などにも力を入れており、生活支援、介護支援、見守りなどトータルで地域包括ケアの体制を整備・充実させ、住民同士の支え合いを推進しています。



～ CHILD CARE・SUPPORT ～
子育て・支え合い

3 生涯活躍できる機会の充実

子どもからお年寄りまで誰もがいきいきと過ごせる世代間交流を促進する施設を中心に、高齢者向け運動プログラムの実施や全世代が学習できるかみしほろ塾を開催するなど、生涯にわたって学ぶ機会の創出と充実を行っています。

保育・子育てをはじめ、健康、教育と、子どもの年齢に合わせたさまざまな支援、助成、制度を整えています。

上士幌町生涯学習センターわかか

「町民が元気になる集いや、出会いにあふれる、ふれあいの場」が基本コンセプト。



施設内には発達支援センター・学童保育所・図書館なども併設されており、全世代を通じた学びの場となっています。

かみしほろ塾(総合講座)



地方創生をコンセプトに、さまざまな講演プログラムを組み、セミナー形式で学ぶ機会をつくっています。講座を通じて新しい自分らしさの発見や、ふるさと再発見のお手伝いをしていきます。

かみしほろ学

子どもたちがESD=Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)を通して学ぶことで、持続可能な社会のづくり手を育てます。



～ STUDY ～
学習

4 町民の健康をケア・サポート

世代毎に応じた健診助成などはもちろん、町民の健康推進意識の向上を図る取り組みを行っています。

それぞれの世代に応じた健康プログラムの提供や、自らの健康データの活用方法について、検討します。

上士幌町健康ポイント事業

生涯活躍するためには、なによりも基盤となるのが「健康」。上士幌町では「歩く」「学ぶ」「健診」することでポイントを貯めることができ、溜まったポイントは



商品券などと交換できる健康促進事業を行っています。町内4カ所に計測スポットを設置し、専用のスマホアプリで健康管理が出来るなど、町民の健康促進を行っています。

健康プログラムの提供



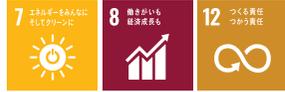
上記健康ポイント事業を行いながら、定期測定会や運動指導などを行い、さらに町民データの分析、分析結果をどう活用するかなどの検討なども行います。



～ HEALTH ～
健康

02

第2の柱



環境と調和した持続可能な農業とエネルギーの地産地消

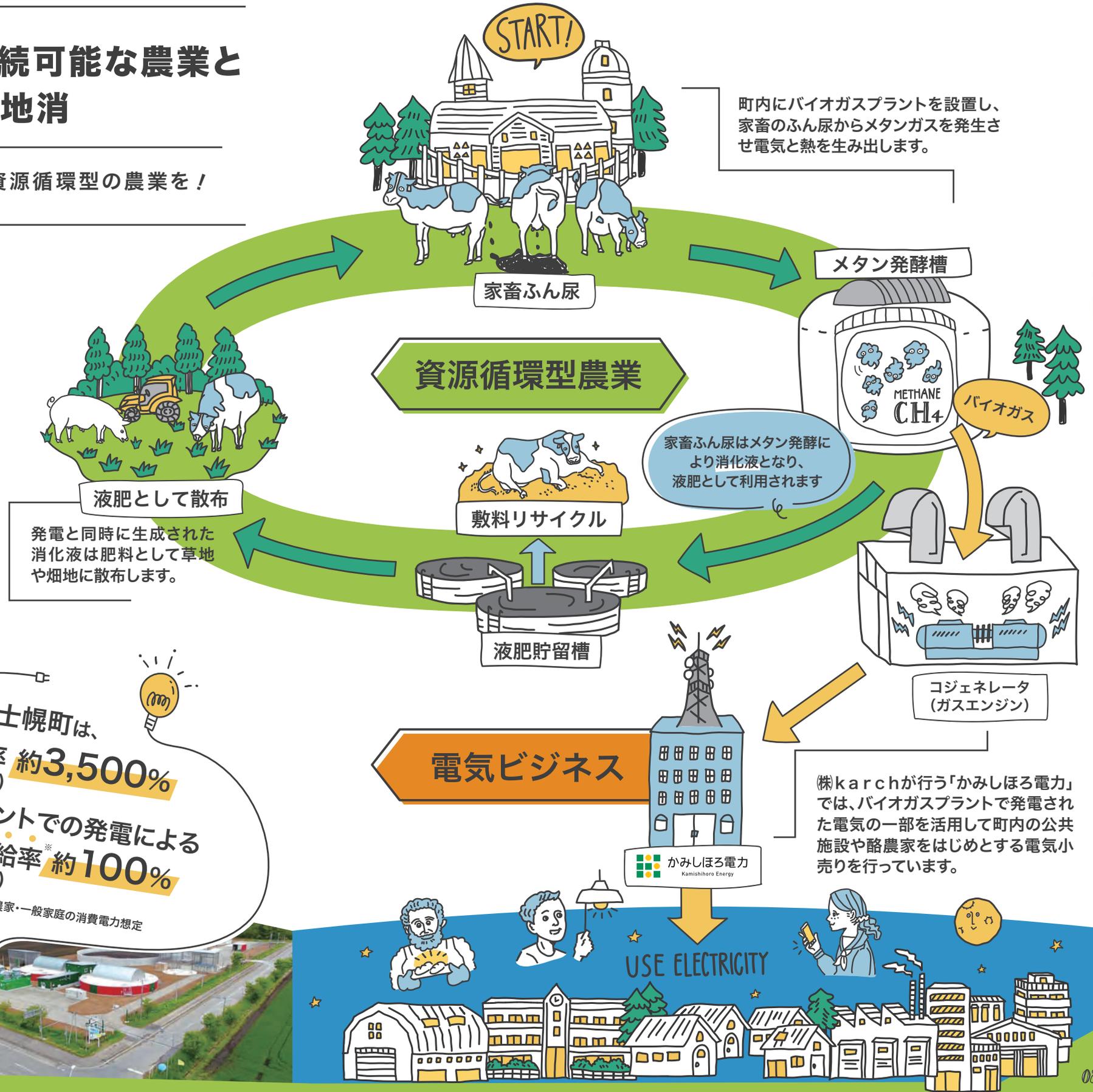
バイオガスプラントを核に、資源循環型の農業を！

Kamishihoro Sustainable Agriculture

上士幌町の資源循環型農業への取り組み

上士幌町では、酪農・畜産業の規模拡大や生乳生産量の増大に向けて、農業関係者が一丸となり、将来を見据えた、ふん尿処理対策を検討してきました。その結果、ふん尿を資源と捉え、地域における資源循環・エネルギー地産地消を目指しバイオガスプラントを導入することとなりました。

上士幌町は、
食料自給率 約3,500%
 (生産額ベース)
**バイオガスプラントでの発電による
 エネルギー自給率* 約100%**
 (発電量ベース)
 ※公共施設・JA施設・畜産農家・一般家庭の消費電力想定



03

第3の柱



地域が稼ぐ力の発揮・地域経営

DMO(観光地域づくり法人)・観光戦略をはじめとして、まちのビジネスを生み出す!

商品開発

◎特産品の開発・商品化

地域の素材を活用した商品開発を行い、オリジナルブランドを道の駅やナイトテラスで販売すると共に、ふるさと納税の返礼品としても喜ばれています。



道の駅オンラインストアも開設し、地元特産品の販売にも力を入れています。



道の駅かみしほろECサイト

<https://michinoeki-kamishihoro.shop/>



イベント開催

◎拠点施設でのイベント開催



プロモーション事業

- ◎広報活動
- ◎各種メディア対応



「稼ぐ力」の推進役となり、人(町民)とビジネスのかけ橋としてさまざまな取り組みを行っています!

観光地域商社

カーチ

株式会社

karch

連携事業

- ◎町内各団体との連携
- ◎広域連携



DMO・観光戦略

- ◎DMO法人登録
- ◎観光による地域活性化



電力小売業

- ◎再生可能エネルギーの地産地消
- ◎電力小売販売 (P7-P8で紹介しています)



株式会社karchは、2018年に会社設立し、観光拠点施設の運営や電力の小売販売をはじめとするさまざまな事業を展開しています。観光をキーワードに地域をプロデュースし、これからは課題解決型商社として新たなビジネスにチャレンジしていきます。

株式会社 karch

〒上士幌町字上士幌東3線227番地1
(道の駅かみしほろ内)
☎01564-7-7777



拠点施設運営

◎観光拠点となる2つの施設を運営

ここが緑の世界「ナイトテラス」



日本一広い公共牧場・ナイトイ高原牧場の頂上に、2019年6月にオープン。展望台からは十勝平野を一望でき、カフェでは地元食材を使ったさまざまなグルメや特産品も提供しています。

旅の目的地になる「道の駅 かみしほろ」



まちの中心部に2020年6月オープン。特産品を使用したグルメを堪能できるレストランやテイクアウトショップ、ここでしか購入できない地元特産品などを扱う販売コーナーがあり、熱気球のまちならではのバルーン搭乗体験もできます。

体験型観光・旅行業

- ◎体験型観光メニューの造成
- ◎人材育成

地域にある素材で地域の方がプレーヤーとなり体験メニューの造成を行っています。インバウンド誘客にも対応できる商品を造成していきます。株式会社karchは旅行業代理業登録を行っており、募集型企画旅行商品を造成しています。たとえばナイトテラスに夜に向かうバスツアーなど特別なおもてなしを体験できる商品を販売しています。



旅行業

◎旅行商品造成・販売



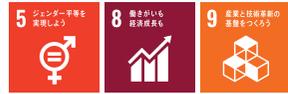
SDGs普及啓発

株式会社karchはSDGsへの取り組みを意識し、プラスチックごみの削減、フードロスへの取り組み、町民や外国人労働者の雇用などを意識し運営しています。



04

第4の柱



人の都市・地方循環による地域活性化

上士幌町と都市を繋ぐことから生まれる新たな巡りを！

滞在型体験プログラム MY MICHI Kamishihoro

都市部の若者が、あそぶ+まなぶ+はたらくを体験する1カ月滞在型プログラム。上士幌町の資源(人・自然・産業など)を活かし、町民とのさまざまな出会い・体験の場を提供することで、参加者が、地域の産業やコミュニティの担い手として活躍しながら、自己実現や地域との持続的な関係構築を目指す取り組みです。



株 生涯活躍のまち しみしほろ

上士幌町字上士幌東3線235番地6

01564-7-7630



自己負担は、現地(上士幌町)までの往復の交通費だけ！

対象年齢 20~39歳まで



※プログラム体験費、シェアハウス入居費、食費、現地移動費、各種保険などは、仕事の報酬を活用させていただき、現地での自己負担はありません。
※費用や対象年齢は変更となる場合がございます。

Kamishihoro
All Over
Japan

都会と田舎をシェアする新しい働き方 しみしほろシェアOFFICE

東大雪の大自然が一望できる贅沢なオフィス環境で、道内外の企業や個人事業主が、テレワークの拠点として利用できるシェアオフィス。

都市部で働く人との関係づくり、地元住民との交流や企業連携による新たなビジネス展開を目指します！



しみしほろシェアOFFICE

9:00~18:00 / 年中無休
※12/31~1/5は休業
上士幌町字上士幌東3線247番地4
01564-7-7550



これまで移住・定住促進策や都市住民との交流を行い、「関係人口の創出・拡大」を進めてきました。都市部若者との交流や、シェアオフィスなどによる働き方改革を推進するとともに、人口減少・東京一極集中・地域経済停滞への歯止めをかけ、地域活性化の実現につなげていきます。

第1期地方創生からつづく「繋がり」の基盤

移住



町とNPO法人上士幌コンシェルジュとが連携した移住総合案内

定住



定住に向けた短期から長期にわたる生活体験モニターの提供

交流



プロモーション、ふるさと納税寄附者との交流会による関係人口の創出

05

第5の柱



次世代高度技術の実装によるスマートタウンの実現

町中を高度情報通信網でつなぎ、より暮らしやすく、働きやすく。

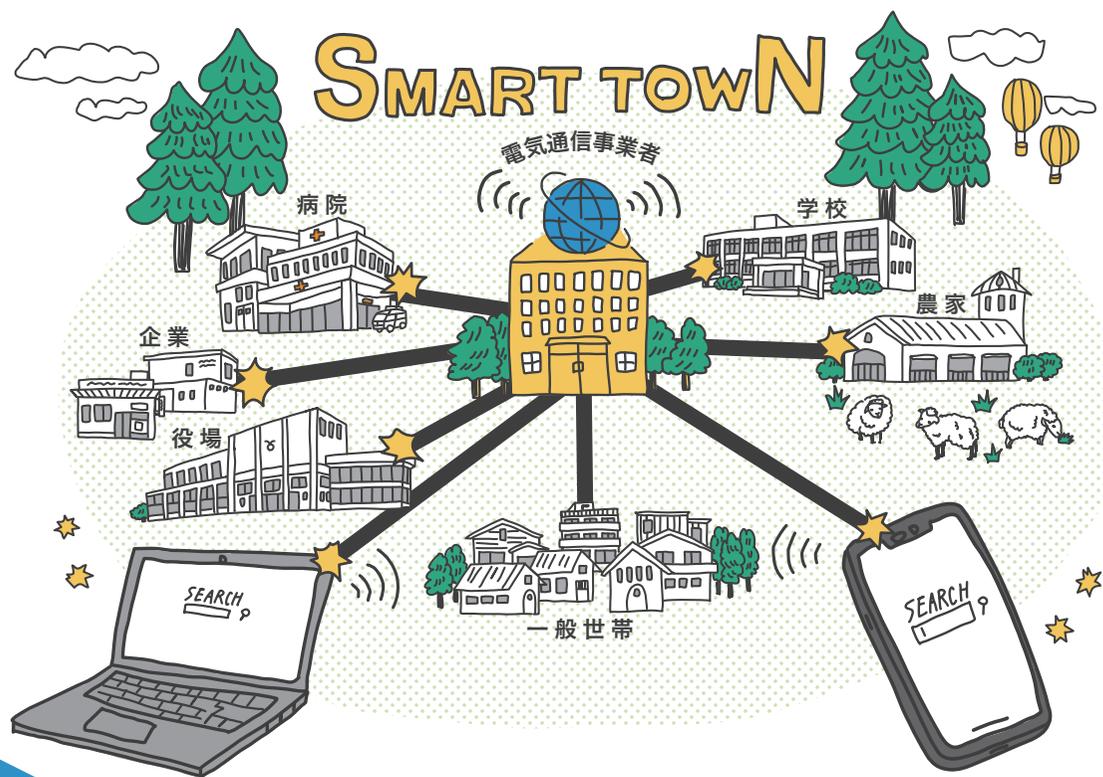
ソサエティ

上士幌町では「Society5.0」を見据えた次世代高度技術の活用を行っています。

※IoTによりサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を連携し、すべての物や情報、人をつなぐとともに、AI等の活用により量と質の全体最適化をはかる社会のこと

1 スマートタウンの基盤の整備

令和元年度に『光ファイバー全世帯敷設』が完了！
この高度情報通信網が整備されたことにより、スマートタウンの基盤が整いました。



2 ICTを利用した未来の移動サービス「MaaS」

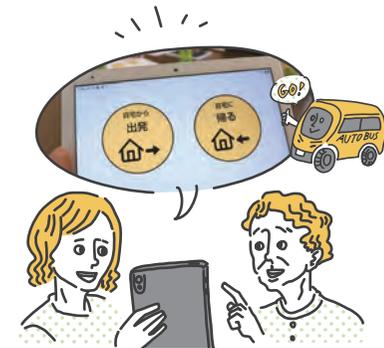
マース

マイカーを手放した高齢者や交通・物流事業者の不足など、地方が抱える交通課題を解決するため新しい移動サービスの構築を推進しています。

過去には外出機会の創出や高齢者が気軽に買い物ができるように、自動運転バスが住民を乗せ公道を走り、スマホアプリから注文したスーパーの商品を運ぶ実証実験を行いました。

また、町内を走る福祉バスをデマンド化し、高齢者がタブレット端末から予約をする実証実験では交通機関の効率化を図るだけでなく高齢者がICTに触れる事で情報格差を解消する1歩にもなりました。

観光客や来訪者にとっても、カーシェアやレンタサイクルなどさまざまな移動手段を組み合わせることで利便性の向上を日々検討しています。



3 ドローンやロボットを活用した山岳救助



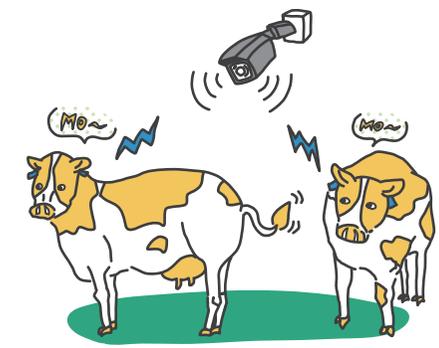
上士幌町内の町有林やナイタイ高原を活用し、実際の山を舞台として、遭難者の実践的な救助活動をテーマに山岳遭難救助コンテストを行ってきました。コンテスト実施とその成果を踏襲し、地域の消防署と連携したドローン活用の実証実験を2020年に行っています。

4 スマート農業の推進

現在、上士幌町の畜産農家では、大規模化を進める中で搾乳ロボットや畜産IoT機器の導入が進み、クラウドを介した人工知能の活用など、先端技術を積極的に取り入れています。

また、畑作農家では、GPSガイダンスシステムを導入し、広大な農地における農作業の省力化や高精度化を進めています。

町では、ロボット、IoT、5G等の利活用によるスマート農業の推進に向け、2019年には4Kカメラと5G通信環境による牛の個体確認の効率化を図る実証試験を、2020年には効率的なエネルギー利用と快適な牛舎を実現するための畜産版エネルギーマネジメントシステムの開発など、さまざまな取り組みが進んでいます。



未来に向けたスマートタウンの実現はこれまでご紹介した全ての柱を繋ぐ大切な仕組みでもあるんです！